

令和3年度一般会計決算の概要(ポイント)

決算の全体像

◇ 歳入	③ 6,336億円 ← ② 6,269億円 (+ 67億円)
◇ 歳出	③ 6,302億円 ← ② 6,213億円 (+ 89億円)
◇ 実質収支	③ 13億円 ← ② 13億円 (± 0億円)

歳入の状況

◇ 主要な一般財源	③ 4,138億円 ← ② 3,734億円 (+ 404億円)
・ 地方交付税	+ 229億円
・ 県税	+ 61億円
・ 臨時財政対策債	+ 48億円
・ 地方消費税清算金	+ 44億円
◇ その他の歳入	③ 2,198億円 ← ② 2,534億円 (△ 336億円)
・ 国庫支出金	+ 141億円
・ 諸収入	△ 250億円
・ 繰入金	△ 153億円
・ 臨時財政対策債を除く県債	△ 75億円

歳出の状況

◇ 義務的経費	③ 2,405億円 ← ② 2,567億円 (△ 162億円)
・ 公債費	△ 145億円
・ 人件費	△ 29億円
◇ 投資的経費	③ 907億円 ← ② 910億円 (△ 2億円)
・ 災害復旧事業費	+ 10億円
・ 普通建設事業費	△ 12億円
◇ 一般施策経費	③ 2,990億円 ← ② 2,736億円 (+ 253億円)
・ 補助費等	+ 180億円
・ 物件費	+ 95億円
・ 積立金	△ 41億円

※③：令和3年度、②：令和2年度、⑥：平成26年度、③：平成23年度

県債等の状況

◇ 県債残高総額は、ピーク時から約1,050億円減少し、1兆円を下回る水準

・ ③末 9,646億円 ← ②⑥末 10,700億円 (△1,054億円)

◇ 交付税措置のない県債残高は、②③末から約840億円減少

・ ③末 3,541億円 ← ②③末 4,384億円 (△ 843億円)

◇ 交付税措置のない県債残高の県税収入額に対する割合は、大きく改善

・ ③末 2.8倍 ← ②③末 4.3倍

財政状況の指標（速報値）

※今後の精査により、数値に異動が生じることがあります。

◇ 本県の指標はいずれも基準をクリア

〈資金繰りの状況を表す指標〉

指標の種類	R3	R2	基準
公営企業等を除く会計の赤字の比率(実質赤字比率)	「－」 (△0.44%)	「－」 (△0.46%)	<3.75%>
全ての会計の赤字の比率(連結実質赤字比率)	「－」 (△9.88%)	「－」 (△10.46%)	<8.75%>
公債費の比重を示す比率(実質公債費比率)	9.0%	8.5%	<25%>

〈負債の状況を表す指標〉

指標の種類	R3	R2	基準
県債残高だけでなく公営企業会計や公社・3セクの負担も含めた、一般会計が将来負担すべき負債の比率(将来負担比率)	115.3%	137.4%	<400%>

※表中、基準欄の数値は、法律により財政健全化計画等の策定が義務付けられる基準